

鹿児島県におけるメッシュ気候値を利用した各種気候図

木崎賢哉・藤崎 満¹⁾・西元直行・佐野憲二
(鹿児島県果樹試験場北薩支場・¹⁾鹿児島県果樹試験場)Kenya KISAKI, Mitsuru FUJISAKI, Naoyuki NISHIMOTO and Kenji SANO :
Several Climatic Maps Using Grid Data in Kagoshima Prefecture

果樹栽培において各種の気候要素の分布を把握することは重要であるが、最近ではメッシュ気候値のシステムが整備され、手軽に任意の地点の気候条件を知ることが可能となった。しかし、ある地域における気候資源の大まかな分布や、気候からみた果樹の適地等を把握する場合、細かく分割、分級化されたカラーモニター等で見ると、等値線図で示した方が実用上便利な面が多い。著者らは、先に落葉果樹の休眠完了に有効といわれる7.2℃以下の積算時間について等値線図を作成したが、ここでは、鹿児島県本土における気候資源の大まかな分布を把握するために、メッシュ気候値を利用して、いくつかの気候要素の等値線図を描いたので報告する。

1. データおよび方法

北緯31°00′、東経130°00′を起点に、緯度、経度とも6.0′刻みに区切り、その交点と対角中間点の合計158地点について、「鹿児島県農業情報提供システム」のメッシュ平年値を基に、年平均気温、10℃以上の積算温度、年間降水量、年間日照時間について地図上に等値線を引いた。積算温度は、半旬の日平均気温10℃以上の値について10を減じ日数を乗じて積算した。なお、ここで用いた平年値は1975年から1992年までの18年間の値を基に計算されたものである。

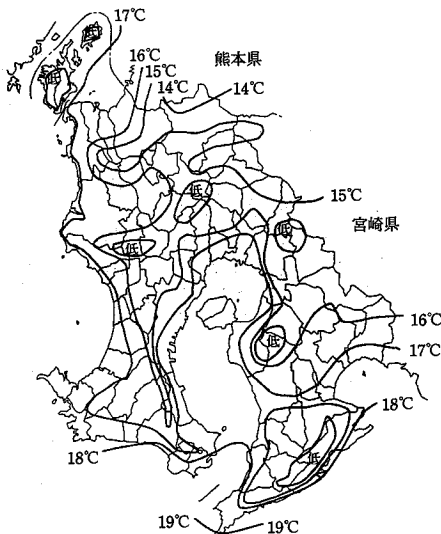
2. 結果および考察

年平均気温は、14℃から19℃まで幅広い分布がみられた(第1図)。10℃以上の積算温度は、2,400℃未満から3,200℃以上まで分布がみられた(第2図)。年平均気温と10℃以上の積算温度の等値線はかなり似ており、18℃の等値線が3,000℃の等値線と、17℃の等値線が2,800℃の等値線と、16℃の等値線が2,600℃の等値線と、15℃の等値線が2,400℃の等値線とそれぞれほぼ一致した(第1図、第2図)。また、年平均気温と10℃以上の積算温度の等値線は、11月下旬から3月上旬までの7.2℃以下の積算時間の等値線(図省略)と近い位置になったが、海岸線から離れた内陸部では平均気温、積算温度が高い割に7.2℃以下の積算時間は多く、各地域における温度条件を知るためには、低温遭遇時間を併せて把握する必要があると考えられる。

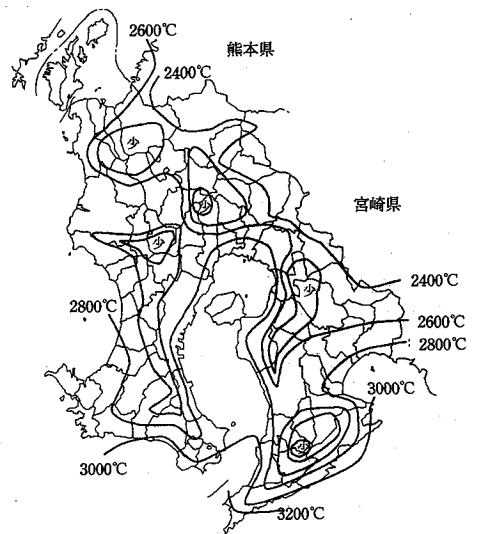
年間降水量は、南端部および北西端部の2,200mm以下から、北部内陸の3,000mm以上まで分布がみられた(図省略)。

年間日照時間は、1,800時間未満から2,000時間以上まで分布がみられた(図省略)。

以上のような各種等値線図から、各種果樹の適地の判定に際し、気候資源の大まかな分布を簡便に分かりやすく把握することができると考えられる。



第1図 年平均気温



第2図 10℃以上の積算温度